

○議員（5番 淵上 清君） 最後です。

○議長（堀江 政武君） 5番、淵上清君。

○議員（5番 淵上 清君） 業者の調整を言ってるんじゃないです。振興局との早期着手に向けた調整ですよ。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 振興局のほうとは、前回は申しましたように、毎月1回ミーティング、プロジェクト会議をしております、その調整を私のほうもやろうと思っております。実は、昨日も振興局長のほうにもいろいろとお願い等もしているような状況でございます。

○議員（5番 淵上 清君） 重要な政策ですから、しっかりと頑張ってもらいたいし、議会サイドもできるだけスクラム組んだ中での対応もしていきたいなと思います。どうもありがとうございました。

最後に済みません。きょうは、ちょっとぶしつけな姿を見せました。皆さんにお断りします。元気ですから御安心ください。ありがとうございました。

○議長（堀江 政武君） これで、淵上清君の質問は終わりました。

○議長（堀江 政武君） 暫時休憩いたします。再開は11時30分からとします。

午前11時16分休憩

午前11時30分再開

○議長（堀江 政武君） 再開します。

11番、上野洋次郎君。

○議員（11番 上野洋次郎君） 皆さん、おはようございます。会派、新政会の上野洋次郎でございます。本定例会では、新政会より5名の質問者がありますが、私が最後の質問者です。よろしく願いいたします。

まず、質問に入る前に、昨日、対馬市においても、地震で震度2、そして、震度3という地震があっております。震源地は韓国のほうでしたけれども、マグニチュード5.7ですかね。そういう中で、議長の許しがあれば、きのうの地震で対馬市において災害があったのか、なかったのか、もうそれだけで結構ですので、市長、報告できればよろしく願いいたします。

今定例会の市政一般質問について、4項目通告しておりますので、順に市長の見解を求めてまいります。

まず、1項目めの副市長定数条例の適用についてでございます。

比田勝市政が船出し、やがて半年になろうとしております。5月からは、行政経験豊富な前総

務部長を副市長として迎え、きょうに至っております。おそらく市長は、国会議員、省庁職員との顔つなぎやまちづくりのために、情報収集に奔走される日々ではないかと推測いたします。決して1人体制に問題があるというわけでもありませんが、しかし、第2次対馬市総合計画における課題分析にあるように、人口減少と高齢化の大きなうねりの中、地域の生き残りをかけた重要課題が山積しております。さらに、市長の所信表明に対し、市民が抱く大きな期待に沿える責任があることは言うまでもありません。

今、国では、地方創生を旗頭に、お金、そして、人的支援をしております。そのようなことを踏まえて、国の職員を招聘し、高度な知識と国とのパイプを活用しながら、問題解決に努めていく必要があるんじゃないかと考えますが、市長の現状認識と、副市長の外部招聘を含めたところの今後の比田勝市政の運営体制について、市長の見解をお尋ねいたします。

次に、第2点目、主要地方道上対馬豊玉線の道路改良についてであります。

この区間は、豊玉町の浦底から上対馬町の比田勝までの主要地方道であります。現在、浦底から琴までの区間はおおむね整備されておりますが、琴から比田勝間の区間は手つかずな状況であります。また、曾・櫛間も未改良区間であります。この未改良区間である曾・櫛間、そして、そのほかの区間の整備計画について説明を求めます。

次に、水産業振興についてであります。

まず1点目、輸送コストの助成事業、漁業用燃油高騰対策事業については、来年度も継続する考えはあるのか。特に、この補助事業は漁業者にとって大変な重要なものであり、また、多くの漁業者より継続を望んでおられます。そのことを含めて、市長の見解を求めます。

次に、漁業燃油高騰対策のうち、本年度は、省エネ機器導入事業に対し補助を行う予定ですが、この省エネ機器導入事業の実績報告を求めます。

次に、3点目、今後、雇用が見込まれる外国人労働者に対して、空き住宅を使用させることはできないのか、条例改正を含めて検討していただきたい。市長の見解を求めます。

次に、最後、4点目でありますけども、フェリー・ジェットfoil運賃の割引制度の拡充についてであります。

長崎県及び対馬市では、一定の要件を満たすフェリーとジェットfoilを、利用者に対して島民限定の割引運賃50%を実施しておりますが、本年、平成28年4月1日から、本土への通院者に対する割引が追加となりました。現行の割引制度では、特定医療割引、後期高齢者割引、学生割引、身体障害者等自動車航送料割引等があります。

今回追加された本土通院割引は、対馬病院、上対馬病院において診療を受けた島民が、島内で完結できない高度医療を要するため、主治医が事前に発行する紹介状を持って本土医療機関で診療を受ける場合に、割引を受けることができます。なお、既に紹介状を持って本土医療機関で診

療を受けている方も、実施日の以降は対象となっております。

そこで、質問をいたします。なぜ対馬病院、上対馬病院のみの紹介状で、市の診療所、あるいは、民間病院での紹介状は適用されないのか説明を求めます。

以上、よろしくお願いいたします。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 上野議員さんの御質問にお答えいたします。

まず、1点目の副市長定数条例についてでございますが、条例の定数は3名以内とすると規定されております。市長就任後、議会の選任同意を得て、5月1日から副市長1人体制で公務を進めてまいりました。議員も御承知のとおり、その現実には、昼夜、休日を問わない勤務体制となっております。私自身は、就任時から本市のトップセールスのため、まず、対馬と私自身の顔を覚えていただけるよう、島外関係者、関係機関へ出張を精力的に行っており、その中、行政を停滞させることなく、迅速かつ果敢に進めなければならないという重責が、留守を預かる1人の副市長の肩にのしかかっております。私自身、副市長時代も1人で執務をしてきた期間もございますが、当然のことながら、地方創生の推進を初め、国境離島新法の活用など喫緊の重要課題に取り組み、強力に対馬市の振興策を進めるためには、副市長1名体制で当たるより、2名体制で臨むことが重要と、就任時よりその人選にも思いをめぐらしております。

また、去る6月定例会におきましても、国からの諸問題に対し明るい役人を副市長に招聘してはどうかという脇本議員の御提案もいただいたところでございます。

政策課題の早期解決と、自立と循環の宝の島 対馬の実現のため、引き続き、国・県を初めとして、民間も視野に入れた人選と、その調整に鋭意努めてまいりますので、御理解、御協力をお願いいたします。

次に、2点目の主要地方道上対馬豊玉線につきましては、曾・櫛間を初め、ほか2カ所の未改良区間がございますが、平成27年4月1日現在の改良率は86%となっております。平成28年度の国道・県道の主な道路改良事業といたしましては、国道382号が3工区、主要地方道厳原豆殿美津島線が2工区、一般県道の比田勝港線が1工区の実施予定と伺っており、主要地方道上対馬豊玉線の道路改良は、今年度は予定されておられません。

今後の整備につきましては、昨日の初村議員の答弁と重複いたしますが、対馬振興局は、現在着手しております区間の早期完成を第一に考えており、新規着工路線につきましては、交通量や費用対効果を考慮し、幹線道路、循環道路を優先的に整備していく方針としております。

市といたしましては、総合計画でも、各集落から対馬空港まで約60分で移動できるよう目指すこととしておりますので、当該路線の改良事業は非常に重要で、優先度は高いと考えておりますが、昨日も申しましたように、県の方向性を踏まえながら、議会でも御検討いただき、今後、

要望してまいりたいと思っております。

なお、未改良区間のうち、舟志・琴間につきましては、御存じのとおり、県とのスクラム事業により、市道堂坂線道路改良事業として現在整備を進めているところでございます。

続きまして、水産業振についてでございますが、1点目の輸送コスト助成事業、漁業用燃油高騰対策事業等、来年度も継続する考えはあるのかという御質問ですが、輸送コスト助成事業につきましては、国の離島活性化交付金を活用して事業の実施をしているところでございます。漁業用燃油高騰対策事業につきましては、現在、燃油の価格は安定しておりますので、議員御承知のとおり、燃油に対する助成は今年度より行っておりませんが、昨年度まで助成しております省エネ機器導入事業につきましては、今年度より国の施策がTPPに関連して、競争力強化型機器等導入緊急対策事業となっており、本事業を活用して実施しているところでございます。

水産業を取り巻く環境は、議員御承知のとおり、さまざまな課題が山積しておりますので、市といたしましても、今後、燃油高騰に左右されない足腰の強い漁業経営を目指すための下支えとして、輸送コスト助成事業、漁業用燃油高騰対策事業等につきましては、国の助成制度の動向を見極めながら状況を精査し、今後も継続を図ってまいります。また、燃油に対する助成につきましては、今後の燃油価格の動向や社会情勢を注視しながら検討してまいりたいと考えております。

2点目の省エネ機器導入事業の実績を求めるとい御質問ですが、1点目の答弁のとおり、今年度より国の事業が競争力強化型機器等導入緊急対策事業となっております。現在把握している県内の採択件数は75件で、事業費ベースで約5億2,000万円となっております。そのうち、対馬市の採択件数は40件で、事業費ベースで約2億7,000万円となっております。採択額における県内での対馬市の占める割合は、事業費ベースで52%となっております。

本事業につきましては、今年度は国の助成に対して、市も10%の上乗せ補助を実施するよう考えております。これにより、1点目で答弁いたしました内容と重複しますが、安定した漁業経営の下支えとして、今後も補助が継続できるよう、国の助成制度の動向を見極めながら、取り組みについて継続してまいりたいと考えております。

3点目の今後の雇用が見込まれる外国人労働者に対して空き住宅を使用させることはできないかとの御質問でございます。

まず、市営住宅への外国人の入居につきましては、公営住宅の管理におきまして、外国人は、日本国内において永住する地位が与えられている者や、4カ月以上在留する中長期的在留者につきましても、地域事情を勘案の上、可能な限り地域住民と同様の入居資格を認めるものとしております。したがって、日本人と同様に公募などを経た上で入居ができるものと判断しておりますので、条例改正の必要はないものと考えております。

ちょっとまだまだ詳しい説明がもし必要でございましたら、後で説明したいと思っておりますので、

若干省略させていただきたいと思います。

続きまして、4点目のフェリー・ジェットfoil運賃の割引制度の拡充についてでございますが、本土通院割引制度につきましては、平成21年度から長崎県のリフレッシュ補助を活用した運賃割引制度となっており、特定疾患割引、後期割引、学生割引、身障者等運転自動車航送料割引に加え、本年4月1日から新たに拡充されたフェリー・ジェットfoilの割引制度になります。

議員御質問の対馬病院、上対馬病院以外の医療機関の発行する紹介状を持って割引の適用を受けることができないかとの御提案でございますが、割引制度の趣旨といたしまして、地域で完結できない高度医療を要するため、本土医療機関にて診療を受ける場合の離島住民の経済的負担を軽減することが目的でございます。また、安易に本土医療機関の診療を進めるものではなく、離島の病院離れを避け、地域病院の存続を念頭に本土通院等割引が設けられており、病床数20床以上の入院施設を持つ病院において発行された紹介状に限り、割引の対象とされております。このことは、島内の診療所と中核病院の連携により、島内の緊急医療体制の充実を第一に、また、緊急時に島内の中核病院と本土の医療機関との情報共有を図ることに重きが置かれているものと紹介します。

例外といたしまして、病院を有しない他の離島におきましては、公立診療所発行の紹介状も認められておりますが、本市におきましては、上対馬病院と対馬病院において主治医が発行する紹介状のみが割引の対象となりますことを御理解いただきますようお願いいたします。

以上でございます。

○議長（堀江 政武君） 11番、上野洋次郎君。

○議員（11番 上野洋次郎君） まず、1点目の副市長のことにしましては、今後、民間も含めた副市長2人体制を考えておるといことで、私も理解できました。もうこのことは市長の専権事項でありますので、これ以上話すことはございません。よろしく願いいたします。

次に、この主要地方道上対馬豊玉線の道路改良についてでありますけども、今の説明では、もう本年度以降もなかなか実施する計画はないということです。私も多分そういう答えが返ってくると思います。市長は上対馬職員の当時知っていると思いますけども、この上対馬豊玉線においては、町自体は市長はわかっていると思いますけども、豊玉町、峰町、そして、上対馬町の町長で、議員で推進委員をつくっておりました。そのころは、私もその委員会でおりましたけども、年に県・国、2回ぐらい行った記憶があります。その当時の予算が、年5,000万でしたよ。それが、そのころ、亀井静香、その当時、大臣でありました。そのときに、5,000万であの道路を改良すると、100年かかるじゃないかと。こりゃいかんと。5億つけると。それから、今ああいう、あそこまでできとるわけですよ。このことはもう少しやっぱり、県も財政的に苦し

いとわかりますけども、やはり琴から先の、特に上対馬町の人たちはたまらんとします。やっぱり何らかの促進委員会、期成委員会をつくってやっていかなければ私はならないと思いますので、そういうことを踏まえて今後やっていきたいと思えます。

それと、もう一つ、この櫛・曾間ですよ。この道路は、特にこの東海岸の中でも、例えば、上対馬町の人が国道を通りますよね。しかし、かなりの部分で大久保から東海岸を通過して、あそこは大きな、やっぱり大事な道路なんです。そういう中で、特に観光、韓国のお客さんが多いわけでありまして、観光バスも多いです、最近。緊急車両も通ります。そして、今の現状は、2カ所ぐらいそれが通らんわけですよ。バスが通過した後ね。市長もわかってると思えますよ。僕は、この区間は全面的な改良をせよとは言いませんよ。しかし、実際、大きなバスとかトラックがあったらかわらんわけですよ。これが主要地方道ですか。できんなら、もうこれ何十年もできんと言うなら、その区間だけでもやってくれ。このことは強く、市長、言わんと、先に進めませんよ。私も全区間やってくれとは言いません。だから、本当に市長も一番わかってると思えますよ。通らないわけですから。車が離合せんわけですよ。そのとこの拡張だけは何とか私はできると思えますけども、そこはどうですか、市長。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 私も上対馬のほうに帰る際、特に、今、上野議員がおっしゃられましたこの曾・櫛間の改良事業、特に韓国のバスとすれ違った際は、かなりここは神経を使うところがございますので、先ほども申されましたように、全体的な改良がちょっと予算的に難しいようであれば、以前やっておりましたような局部改良的な事業ができないか、再度また県のほうに御相談と御要望を申し上げたいというふうに思えます。

それと、ちょっと冒頭、きのうの地震の被害はなかったかという質問がありましたので、ちょっと忘れておりましたので、今の時点で報告させていただきますけども、きのうの地震の被害につきましては、現時点では報告を受けていないということを申し伝えます。

○議長（堀江 政武君） 11番、上野洋次郎君。

○議員（11番 上野洋次郎君） この主要道に関しましては、市長も現状の認識はしておりますので、もう局部的なものでもいいですから、会う機会には早急にやってもらいたいと思えます。特に観光行政をやるなら、それに関して、道路もやっぱりある程度は改良していかなくちゃだめですよ。そして、あそこを通る人はかなり困っておりますので、よろしく願いいたします。

次に、水産振興についてでありますけども、まず、1点目の輸送コスト助成事業、漁業用燃油対策事業については、来年度も継続していただけるということを伺いましたので、安心しております。

次に、この省エネ機器導入事業、先ほどから市長が言う、今回、国の名前が長い、競争力強化

型機器等導入緊急対策事業でありますけども、これは前市長の折の、これは予算でありますけども、補助率の問題を再度聞きたいと思うわけですが、当初予算では、当時の農林水産部長の話では10から12%、できれば何とか12%をしたいという答弁でございました。今回、最終的には、この補助事業は何%と、市長は考えておられるんですか。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） この事業につきましては、現在、市の上乗せは10%を計画しております。

○議長（堀江 政武君） 11番、上野洋次郎君。

○議員（11番 上野洋次郎君） もうこのことに関しまして一言言いたいんですけども、今回、国が10、市も10%ということで、私はかなり頑張っていたと思うわけですが、県が全くないわけですね、本年度は。県はいつも水産県長崎と言いますよね。そう言いながら、全く県はゼロ。このことは、市として県のほうに幾らかでも補助ができないのかということは、まず要望をされたのかどうかお伺いいたします。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 私自身、私が知っている水産関係の方には、ぜひ県のほうにも同じく上乗せ助成をお願いしたいという話はしましたけども、正式には要望はいたしておりません。

○議長（堀江 政武君） 11番、上野洋次郎君。

○議員（11番 上野洋次郎君） 今後は、機会があるたびに、市も出すから、やっぱり県も応分の補助もしていただきたいという話は、今後、来年度以降はやっぱりそういう話をしてもらいたいと思います。

それと、この先ほど言った長い長い名前ですけども、この省エネ機器導入事業については、国もことしから最低3年間はやると。ことしは補正で組んでおりますけども、最低3年間はやるということなんですけども、もうできれば、全漁連のほうは、それを5年やってもらいたいということ国に要望しております。

そういう中で、ころころ今までやっぱりこの補助事業もパーセンテージは変わるわけですね。このことを私が心配しとるわけなんです。もう今後、国が50%は、これは間違いないわけです。ことし40億ですけども、もうそれだけで、もう選抜してその額入れとるわけですから、50%はもう間違いないわけです。市としても、私は12%を出してもらいたい気持ちはありましたけども、10%でいいでしょう、それは。しかし、これをこの間、この事業があと3年、5年間あるのであれば、もう10%やるということ、できれば市長が市民の前で、特に漁業者の前で言うていただければ、漁業者の方々もやっぱり計画があるわけですよ。60%なのか、もし市がゼロで50%。やっぱり漁業者の持ち分もあるわけですよ。金融機関からまた借らなでき

んわけでしょう。そういうことを含めて、市長、この国の事業がある限り、市は10%今後出すということ、だから今のやっぱり財政の面もあるでしょうけど、今度、国境離島新法もいろいろな予算が入ってきますので、そのことも踏まえて、この事業がある期間は10%市は出すということをお願いできませんでしょうか。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） まず初めに、この事業の導入の申請者の希望を募りましたところ、183件の希望があります。そのうち、ことし採択できたのが40件ということで、あと残りが143件ございます。これを、この12月の補正予算も40億予算がつくようございませぬので、含めて、皆さん希望される方が等しくこの事業を利用されるように、市といたしましても10%の補助は続けてまいります。

○議長（堀江 政武君） 11番、上野洋次郎君。

○議員（11番 上野洋次郎君） ありがとうございます。今市長が言われるように、この本年度の申請が183件、申請総額ですけれども約11億円です。11億5,000万。その計画承認が2億9,000万ですけれども、確かに市長が言われる183引く40は、143件です。しかし、これは今年度の申請だけであって、この事業があるなら、今回はやめとった、しかし、また期間があれば申請したいということもありますので、市長がこの10%を、この事業があるならやるということで、もう皆さん、テレビを見ておられた方は大変喜んでと思います。ありがとうございます。

次に、先ほど外国人労働者の空き住宅は条例改正も要らないということわかりました。

そこで、市長もどうですかね。自分の市長の選挙、全島回りまして、やはりこれは漁業ばかりじゃないと思うんです。外国人労働者については、私も2月市長選挙で全島回りしましたが、かなりやっぱり今後は、特に漁業なんですけれども、労働者雇用は大きな問題になると思うわけです。今、市としても、確かに農業、林業、漁業、いろんな、特に市長が重点施策とされておりますやっぱり雇用の問題で、特にそういうこといつも聞きますので。しかし、それだけでは、何十人の世界なんです。今、例えばですよ、林業整備事業者は6名、製造加工業者に9名、そしてから、農業に関しましては12名の就農者、畜産に関しては5名、水産業に関しましては、これまで15名、県の補助事業ですけれども、市の独自としては5名、漁船リース事業については14名の担い手が活用されております。この事業は事業としてわかるんです。しかし、はっきりこの事業だけでは到底、私は追いつかないと思います。

これは、きのうなんですけれども、私、地区の定置の役員をしております、緊急役員会が招集されまして、その折に何のことかと思ったら、雇用してる人がもうやめたいと。そういうことで緊急役員会がありました。その中で、今後、雇用者を探すのも大変だと、こういうお話もありま



した。黒字倒産しますよと。うちの峰東部管内、定置が4ヶ続あるわけですけども、みんな結構、みんな合わしたら4億5,000万ぐらいありますけども、やっぱり大きな海の資源がありながら、その1ヶ続が終わったら1億5,000万。漁協は苦しむ。部金が入らない。もう切羽詰まった状況なんです。これは定置ばかりじゃないですよ。これは林業にしてもそうでしょう。いろんな加工関係にしてもそうでしょう。特に真珠関係もそうでしょう。これはもう待たなしの状況だと、そういう感じを私は持っております。

そういう中で、市長、やはり今後は早急に外国人雇用対策のその部署でもつくってやらんと、これは大きな、対馬は海の資源がありながら、それが潰れていく。本当これは遠くない。今からやっとかんと大事な問題になると思いますけども、そここのところの認識をもう少し、市長、聞かしていただきたいと思います。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 対馬の雇用環境は、確かに労働者不足が入っているというようなことはお聞きしているところでございますが、昨日も初村議員のほうからも質問がありましたように、農業におきましても、ほかの産業におきましても、やはりそういった関係で労働者不足に陥っているということでございますので、この労働者の確保対策につきましては、また国・県もそのような機関がございますので、そういったところとまた相談して、また連携しながら対策を進めてまいりたいというふうに考えます。

○議長（堀江 政武君） 11番、上野洋次郎君。

○議員（11番 上野洋次郎君） 最後のこの割引制度についてでありますけども、市長の説明にもありましたように、私も企業団病院の議員として、そういうことはわかっております。ただ、市民が言われるのは、確かに不公平感があるわけですよ。今現在やったらいいですよ。しかし、その前からそういうのでかかってたまたま行った人、僕に言われるのは、多分そんな人が多いわけですよ。ですから、何かの運用でできないのか。例えば、今行つとる人が、もう民間から紹介状をもらって行つとる人が、例えば、もう一回、対馬病院で再度かかって紹介状を書いてもらえばいいわけですよ。そここのところは、まずどうなんですか。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） あの……。最初の部分私わかりかねますので、担当部長に答えさせます。

○議長（堀江 政武君） しまづくり推進部長、阿比留勝也君。

○しまづくり推進部長（阿比留勝也君） 先ほどの御質問にお答えいたします。

再度厳原病院等にかかっていた場合適用となります。そのことによって緊急時等、救急車等で運ばれた場合にも、カルテ等が残りますので、御本人のためにもそのほうがいいのかというふうに考えております。

○議長（堀江 政武君） 11番、上野洋次郎君。

○議員（11番 上野洋次郎君） ですから、今部長のほうがありましたので、やっぱりそういうこともわからない人が多いと思うわけですね。そのことも含めて、何か広報して、やっぱり本当に補助がいただきたいというなら、こういう方法もありますと、そういう何か告知できるようなことができるように要望をしておきます。

それと、もう一つは、この補助事業は、例えば、フェリー・ジェットfoilですから、ほとんどが福岡ですよ。福岡ですよ、多分。ただ、実際にこれは対馬病院からでも、たまたまやっぱり長崎の医療センターとか、まあほとんどががんの患者ですけども、そういう場合もあるわけですね。多分この割引制度、私から見れば、福岡県だけと思うわけですよ。これはもう、僕は独自でも、長崎にどうしても行かなければならない患者さんに対しては、これは飛行機の半額までと私は言いません。ある程度のやっぱり助成をしてやると、もうこれは私は必要だと思うわけですね。実際にそういう方もたくさんおられるわけですよ。そこも不公平感があるわけですね。そこはどうでしょうか。

○議長（堀江 政武君） しまづくり推進部長、阿比留勝也君。

○しまづくり推進部長（阿比留勝也君） このリフレッシュ割引についてでございますが、これはあくまでも船舶のリブレースに関する国・県の補助に対して行っている事業でございますので、そのあたりについては、今後検討が必要かというふうに考えております。

○議長（堀江 政武君） 11番、上野洋次郎君。

○議員（11番 上野洋次郎君） もうそれは、だから、重々わかっております。ですから、別に市の単独でもいいから、多分、長崎の医療センター、初めは数は少ないと思うわけですよ。そのところはもう少しやっぱり、確かに事業自体の中身はわかりますけども、市民としてはやっぱり不公平感があるわけです。そのところはもう少し考えていただいて、よろしく願いいたします。市長、どうですか。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） このリフレッシュ割引につきましては、スクラムミーティングのほうでも話が出まして、例えば、平戸あたりの離島はこの対象になっていないといったことで、今後そこら辺も含めまして、県のほうに検討を促している段階でございますので、今、上野議員さんからありました要望につきましては、また今後そこら辺の御相談を検討いたしたいというふうに思います。

○議長（堀江 政武君） 11番、上野洋次郎君。

○議員（11番 上野洋次郎君） あと9分ありますけども、もう昼飯の時間ですので、ある程度市長の答弁を聞きましたので。

最後に、いつも市長はやっぱり水産業なくして対馬の振興は、発展はないという強い認識を持っておられることで、私もこの議員になって、いつもそういう感じで議会活動をやっております。そこで、これはもう提案だけします。

今、農林水産部ですよね。私は、今後やっぱり水産が、昔はですよ。ほんの数年前まではほとんど農業に重点を置いて、国がですね。もう補助関係多かったです。しかし、ここ数年ですよ。エンジンがただとか、こういういろんな補助でと。これは確かにもう金子先生、そして、谷川先生、かなりもう一生懸命やってくれました。それはもう私も重々わかっております。ですから、こういう、たくさん今からやっぱり水産に関していろんな補助事業もできますし、このTPPに関して、またそれ関連もありますので、私は、できたら農林部長、別に水産部長つくるような、そういう気構えを持って、この水産、行政に当たっていただきたいと思います。

以上で私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（堀江 政武君） これで、上野洋次郎君の質問は終わりました。

○議長（堀江 政武君） 昼食休憩とします。午後は1時10分から再開します。

午後0時13分休憩

午後1時10分再開

○議長（堀江 政武君） 再開します。

10番、波田政和君。

○議員（10番 波田 政和君） 皆様、改めまして、大変お疲れさまです。会派つしまの波田政和でございます。

早いもので、比田勝市政がスタートし、はや半年を迎えようとしています。比田勝市長や執行部の皆様におかれましては、連日の同僚議員からの質問に対しお疲れもあるかと存じますが、明確な答弁で最後までお付き合いをお願いしたいと思います。

まず、一般質問に入る前に、私が通告しております質問の中で、初めに市長に1点、確認したいことがあります。その確認したい事柄について市長の答弁の内容により、私の発言が左右されることから、1点確認をさせていただきたいと思います。市長におかれましては、自席において答弁をいただいた後に、私の本来の質問をやりたいと思いますのでよろしくお願ひします。よろしいですか。

では、市長にまず1点お伺ひします。本市が発注をする公共事業について、公共事業とは何かお答えいただきたい。

そしてまた、公共事業に対し、どのような姿勢をお持ちなのか、市長の基本的なお考えを端的